# 卒業、卒業要件について

卒業するためには、次の要件を満たす必要があります。(「学則」本冊子P.208参照)

・４年以上８年以内の在学期間であること
　※編入生・転入生は、定められた在学すべき年数から、その２倍に相当する年数まで。
　※休学等の期間は、在学期間に含まれません。
・学則に定める、学科ごとに定められた必修単位を含めて、所定の単位数以上を修得すること。
　※各学科毎の卒業に必要な単位数は、「卒業要件単位数表」(P.63) で確認してください。

<注意事項>
・「選択必修科目」を必要単位数以上に修得した場合、「選択科目」の単位とすることができます。
※教務課での特別な手続きは不要です。

# 単位とは

すべての授業科目には単位数が設定されています。
単位とは、科目を修得するために必要な学修量（時間）を数で表したもので、**「大学における授業時間」と「自主学習（予習・復習や課題への取組)」**時間を合計したものです。

※講義系科目の場合の一例

２単位 ＝ ( 授業時間（２時間／実質90分） ＋ 自主学習（４時間） ) × 授業回数 15回（週）

# 単位の修得に関する留意事項

「卒業研究」(必修) を履修するには、３年次修了時点で、所属学科の定める履修要件を満たしていることが必要です。詳細はP.64に記載の「卒業研究着手条件について」、所属学科の「卒業研究」シラバスまたは所属学科の教員に確認してください。
なお、卒業に必要な単位とは、「教育課程単位」のことです。
教職課程および博物館学芸員課程として開講する科目の修得単位は、基礎教育科目として開講される一部の科目を除いて、卒業に必要な単位には含まれません。くれぐれも注意してください。

# 単位の認定について

定められた授業期間の講義、演習、実習、実技などに出席し、試験（定期試験、追試験、再試験）を受験、または授業内での小テスト、レポート・作品提出など、それぞれの科目で課された要件を満たした場合は、学期または学年の終わりに成績の評価が与えられます。

## 成績評価

成績評価は100点満点の評点によって行われます。成績評語はS・A・B・C・D・E・Nです。S・A・B・C・Nの場合に単位が認定されますが、D・Eの場合は認定されません。

**〈成績の種類など〉**

| 評語 | 評　点 | 合否 | GP | 評価基準 |
|---|---|---|---|---|
| S | 100点／90点以上 | 合格 | 4.0 | 特にすぐれた成績 |
| A | 90点未満80点以上 | | 3.0 | すぐれた成績 |
| B | 80点未満70点以上 | | 2.0 | 良好な成績 |
| C | 70点未満60点以上 | | 1.0 | 合格と認められる最低の成績 |
| N | 認定 | | － | 規程に基づく成績 |
| D | 60点未満 | 不合格 | 0 | 合格と認められない成績 |
| E | 評価なし | | 0 | 出席回数不足、または試験未受験、課題提出不足等で評価できない |
| w | 評価なし | － | － | 履修中止 |

※N、WはGPAに含まれません。
※シラバスに「総合評価」と記載されていても上記評価基準に当てはまる場合は「評価なし（E評価)」となる場合があります。
※再試験の最高評価は「C」です。

## GPA（Grade Point Average）

GPA（Grade Point Average）とは、履修科目の成績の平均を数値で表すもので、自分の履修状況について、学修の「量」だけでなく、「質」（到達度）を明らかにし、自分自身の今後の履修および学修の目標等を具体的にすることができます。

**■事務局、学科における主な活用**

・奨学金選考や特待生選考、修学支援制度における学業に関する適格認定
・コース・ゼミ配属時の調整
・著しくGPAが低い場合の学修指導等
・成績証明書への記載

**■GPA算出方式**

GPAは、履修した科目の評価に一定のGPを与え、このGPにその科目の単位数を乗じ、その合計を履修科目の総単位数で割って算出します。（「履修に関する規程」本冊子P.180参照）
不合格の評価（D、E）の場合、その科目のGPは０となり、GPAが下がることになるので注意してください。
なお、前期の不合格科目（D）を後期で再履修し、合格の評価を得た場合、通算GPAには両方の評価が算入されます。

**■GPA対象外科目**

・単位認定科目（N評価）　　・履修を中止した科目（w評価）
・教職課程として開設する科目（※）　　・博物館学芸員課程として開設する科目（※）
※基礎教育科目として開講される一部の科目を除く

○「学期毎のGPA」

$$GPA = \frac{[(当該科目の単位数) \times (当該学期に履修した科目で得たGP)]\text{の合計}}{当該学期に履修した科目の単位数の合計}$$

○「通算のGPA」

$$GPA = \frac{[(当該科目の単位数) \times (各学期に履修した全科目で得たGP)]\text{の合計}}{各学期に履修した全科目の単位数の合計}$$

（例）Ａさんの前期ＧＰ

| 履修した科目 | 単位 | 評価 | ＧＰ |
|---|---|---|---|
| ○○○○学 | 2 | A | 3.0 |
| △△△講義 | 2 | S | 4.0 |
| □□A | 4 | D | 0.0 |
| ◇◇◇◇論 | 2 | A | 3.0 |
| ○○実習 | 4 | A | 3.0 |

（例）Ａさんの後期ＧＰ

| 履修した科目 | 単位 | 評価 | ＧＰ |
|---|---|---|---|
| ○○学 | 2 | B | 2.0 |
| △△△△△講義 | 2 | S | 4.0 |
| □□A（再履修） | 4 | C | 1.0 |
| ◇◇◇ | 2 | A | 3.0 |
| ○○○演習 | 4 | A | 3.0 |

◎ＡさんのＧＰＡ（小数点第３位以下四捨五入）

**前期ＧＰＡ＝２．２９**
（2単位×3）＋（2単位×4）＋**（4単位×0）**＋（2単位×3）＋（4単位×3）／14単位

**後期ＧＰＡ＝２．４３**
（2単位×2）＋（2単位×4）＋**（4単位×1）**＋（2単位×3）＋（4単位×3）／14単位

**通算ＧＰＡ＝２．３６**
（2単位×3）＋（2単位×4）＋**（4単位×0）**＋（2単位×3）＋（4単位×3）＋（2単位×2）＋（2単位×4）＋**（4単位×1）**＋（2単位×3）＋（4単位×3）／28単位

## 既修得単位等の認定

下記の単位･技能審査について、教育上有益と認められたときは、本学において修得した単位として認められることがあります。
⑴　本学入学以前に在籍した他の大学、短期大学又は高等専門学校において修得した単位
⑵　本学入学以前に在籍した他の大学、短期大学又は高等専門学校の専攻科において修得した単位
⑶　専修学校の専門課程（修業年限２年以上）において修得した単位
⑷　技能審査（実用英語技能検定・トレース技能検定など）の合格結果
⑸　交換留学先で修得した単位

**※⑴～⑶は入学時、**⑷は年２回（４月と９月）、⑸は交換留学終了後の所定の期日までに、教務課に申し出てください。詳細は掲示にてお知らせします。
※認定された単位は、学業成績通知書にて「Ｎ」と表記されます。